

輝いている人を紹介します

# まちのキラリ



日本と諸外国のつなぎ役を果たす外交官として活躍し、現在はアフリカのボツワナ共和国で日夜さまざまな職務にあたる。外国生活は苦勞が多いかと思いきや、「すぐ慣れるので大変だと思ったことがない。」と笑う菅野さんに、外交官の仕事や国際協力への思いを伺った。



## 国際協力に携わり続けたい 得た知見をいつか伊達に返したい

**国際協力への思い募らせ**  
日本の大学を卒業した後、イギリスの大学院で平和や紛争解決について学び、国際協力がしたくて外務省に入りました。  
前任地のウガンダでは、ナイル川に橋を架ける建設事業に携わることができました。物流に関わる重要な事業で、国の未来を左右する国家プロジェクトだったので、とてもやりがいを感じました。

在ボツワナ日本国大使館二等書記官

かんのただかず  
**菅野 直和**さん(霊山町出身)



### 外交官の仕事とは

ボツワナの外交・内政について現地の新聞から情報収集したり、ボツワナ政府に対して日本政府からの働きかけをしています。また、文化行事を開いて、日本の文化を現地の人に知ってもらうことも大切な仕事の一つです。

### 比較的豊かで平和な国

ボツワナはダイヤモンド産出国で、高中所得国に分類されます。ゾウの生息数が世界一といわれていて、サファリを中心とした観光業も盛んです。また、1966年の独立以来一度も紛争を経験していない平和な国です。一般的なアフリカのイメージとは少し違うかもしれません。

### 似てる？伊達とボツワナ

とてもおおらかで気さくな人が多いところは伊達に似ています。首都ハボロネにも高層ビルは少なく、放し飼いの牛が歩いていたりします。都

市部を一步出れば大自然が広がっていて、のどかなところも似ています。昔、祖父が牛を飼っていて、今でも実家に牛舎があるので、牛がいる景色はなじみがあります。

### これからの展望と願い

世界各国と比べると日本は本心に安全だと感じます。また、日本企業には世界のいろいろな問題を解決できる技術があるので、どんどん世界に進出してほしいと思います。

私自身、これからも国際協力に携わり続けたいと思います。そしていろいろな国で働いた知識や経験、開発協力から得た知見を、何らかの形で伊達市に還元できたらいいなと思っています。



ボツワナの皆さんに日本酒の説明をする菅野さん